

2022/6/12

7th
トーク
コンサート



ピアノ

関 孝弘

Toyosu



主催：ブリッランテ

後援：イタリア大使館 イタリア文化会館 晶文社 日伊音楽協会 全音楽譜出版社 カワイ出版

プログラム
Programma

ガルッピ

Galuppi

モーツアルト

Mozart

: ピアノ・ソナタ「エレナ」

Piano Sonata "Elena"

: ピアノ・ソナタ K. 330

Piano Sonata K. 330

----- 休憩 -----

スカルラッティ

Scarlatti

: ピアノ・ソナタ K. 20 · K. 9 · K. 159

Piano Sonata K. 20 / 9 / 159

バッハ

Bach

: シチリアーノ

Siciliano

バッハ

Bach

: 前奏曲 ハ長調

Preludio

バッハ = ブゾーニ : コラール前奏曲「イエスよ、私は汝の名を呼ぶ」

Bach / Busoni

Preludio Corale "Io t'invoco o Signore"

バッハ = ブゾーニ : シャコンヌ

Bach / Busoni

Ciaccona



次回
予告

2022年12月8日(木) 東京文化会館大ホールシリーズ第19回

関孝弘ホームページ <https://www.mt-brillante.jp>

＜曲目解説＞

ガルッピ (1706~1785) : ピアノ・ソナタ「エレナ」

ガルッピはモーツアルトよりちょうど50年前にイタリアのヴェニスに浮かぶブラーノ島に生まれました。130曲以上のソナタを残し、ソナタの元祖と言われています。その中でも、このソナタ「エレナ」は明るい旋律美ときらめく装飾音を持つ、最も美しい魅力的な作品の一つです。

モーツアルト (1756~1791) : ピアノ・ソナタ K. 330

1788年にパリで作曲された明るい愛らしい作品です。AINシュタインは「モーツアルトが描いた最も愛らしい曲の一つ」と語り「この作品でモーツアルトは眞の傑作を生み出した」と高く評価しています。各楽章の表情は極めて豊かで、古典的な洗練度は逸品です。

スカルラッティ (1685~1757) : ピアノ・ソナタ K. 20 · K. 9 · K. 159

バッハと同年の1685年にイタリアのナポリに生まれ、ポルトガル、スペインで活躍しました。555曲ほどの技巧的に難度の高い練習曲として、スペイン王妃のために残されましたが、その豊かで自由な展開性、ファンタジーによって後にソナタと呼ばれるようになりました。

バッハ (1685~1750) : シチリアーノ

バッハのフルート・ソナタ第2楽章に置かれている美しい作品を、ピアノ用に編曲されたものです。シチリアーノはイタリアの島シチリアを起源とする、もの悲しい緩やかな舞曲です。このピアノ作品は、ノーベル平和賞を受賞した医師・哲学者・オルガニストでもあったシュヴァイツァーに捧げられています。

バッハ：前奏曲 ハ長調

ピアノを学ぶ人たちにとっての旧約聖書とも言われている平均律クラヴィーア曲集の中でも、たいへん有名な前奏曲です。シンプルですが、美しいハーモニーが魅力的で、フランスの作曲家グノーはこの曲をほとんど変えることなく伴奏に見立てて美しい旋律を乗せて「アヴェ・マリア」として仕上げ、名曲となっています。

バッハ = ブゾーニ (1866~1924) : コラール前奏曲「イエスよ、私は汝の名を呼ぶ」

コラールは元来キリスト教のルター派教会に集まった会衆によって歌われる讃美歌のことです。コラール前奏曲はそのコラールが歌われる前の導入としてオルガンなどによって演奏される作品を言います。バッハは後年、この曲を元にして教会カンタータを作曲しています。

バッハ = ブゾーニ：シャコンヌ

無伴奏ヴァイオリンのためのバルティータ2番の終曲がシャコンヌです。イタリアの大作曲家・大ピアニストのブゾーニによってピアノ用に編曲され、ヴァイオリンを超えた音の広がりを感じるピアノ作品の名曲として君臨しています。精神的にも技術的にもたいへん高度な難曲となっています。

日本とイタリアを結ぶピアニスト

東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第2位、安宅賞を受賞。イタリアのブレーシャ国立音楽院に留学し、バルマ・ドーロ国際コンクール第2位、サンボーニ国際コンクール第1位、ベッリーニ国際コンクール第3位、ラフマニノフ国際コンクール第3位、エンナ国際コンクール第3位等、多数の国際コンクールに上位入賞を果たす。ヨーロッパ全土で演奏旅行を開始。サンクトペテルブルグ交響楽団、ワルシャワ・フィル、モスクワ国立交響楽団、ベニス室内合奏団など世界の著名なオーケストラからソリストとして迎えられる。

1988~2005年まで東京芸術大学講師を務める。CDは25タイトル、多数の楽譜が発売されている。イタリアのピアノ作品の紹介を意欲的にしており、本邦初演も数多い。

「これで納得！よくわかる音楽用語のはなし」は異例のベストセラー、ロングセラーを続け、中国語にも翻訳出版されている。

2009年イタリアの音楽文化を広めた多大な功績により、イタリア政府より大統領の名のもと、文化功労勲章「コメンダトーレ章」が叙勲された。2014年イタリアのフィナーレ・リーグレ市より名誉市民の称号が授与された。2015年出版された「ブリッランテな日々」も反響が大きく、1年を待たずして増刷されている。イタリア大使始め、各界の多方面にわたり賛辞が絶えない。

2001年より始まった東京文化会館大ホールシリーズは今年で第19回を迎える。毎年満席にする実力ピアニストである。

また、難病の子どもたちのための支援チャリティーコンサートを開催するなど、夫人と共に社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。透徹された書きの美しさには定評がある。

現在、日伊音楽協会理事、スマイルオブキッズ理事、バルマ・ドーロ国際コンクール（イタリア）審査委員長もつとめている。

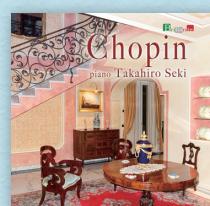
本日コンサートおすすめのCD案内



「ガルッピ」



「ミケーレ」



「ショパン」



「イタリア名曲選集」



「愛する子ども達のために 2007」

出版の案内



これで納得！
よくわかる音楽用語のはなし
全音楽譜出版 ¥2,090



ひと目で納得！
音楽用語事典
全音楽譜出版 ¥1,980



ブリッランテな日々
～マリアンジェラのイタリア流しあわせ術～
晶文社 ¥1,760

肩の力を抜いて良いんだ。幸せは、いつもそばにある！
30年以上に渡る日伊の往復生活の中で抱き、理解していく
様々な疑問。

なぜイタリア人は表現力、個性が豊かなのか？なぜ自信がある
のか？自分らしく輝いていくのに必要なものは？

これらの秘密を、著者ご夫妻は解き明かしていく。

出版から1年を待たずして増刷となった、大好評のエッセイ。

ピアニスト関孝弘とイタリア人ラーゴ・マリアンジェラ夫妻が、「音楽用語」の眞の意味を解き明かす、書き下ろしエッセイ。
テヌートとリステヌートの違い、わかりますか？ レントヒラルゴ、
どっちが遅い？
イタリア人はアンダンテが「歩く速さだ」とは捉えていない！ ブリッ
ランテの輝きとは、どんな輝きなのでしょうか？
ソリフェージュの原点は「ソリ」と「ファ」の繰り返し！？
解っているようで殆ど理解されてこなかったのが、この「音楽用語」。
分かりやすく本来の眞の意味を解き明かした大ベストセラーの2冊。